

Gōkan: (No. 014)
Jidai Kakami.
Part 2 Book 11--20.

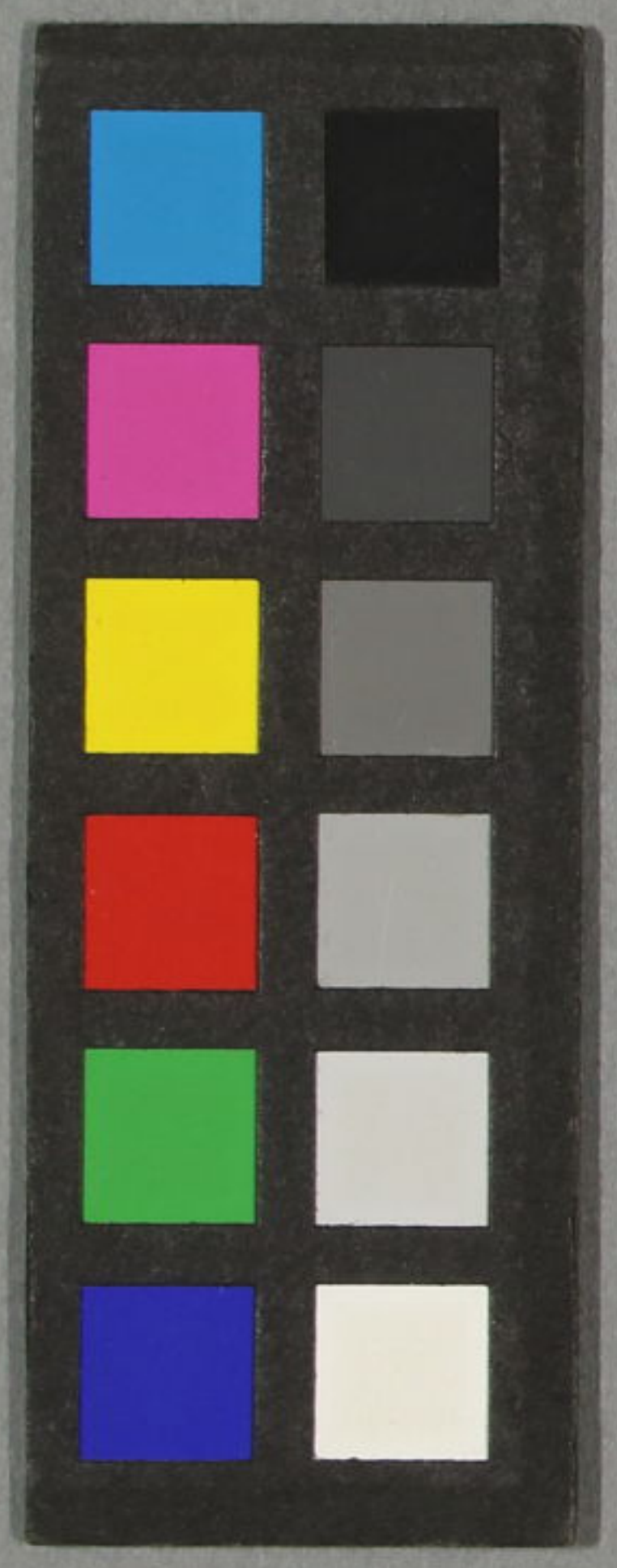
美北
談靈
時代
鏡



美北

十一編上

~ 13
3740
21



門 へ 13
3740
21



志づふの望み
しるまきつ海
かき能くあ
るまきつ
梅咲る
らにさ
まのきり
まのきり

越後の國の七不思議前の編の口画小見せ成
再び言人もくく一けれど就中かの陰火ハ八方村多何某と云ふ

何日の実の自由取まき。夜泊油燈の換りとあり専農家の
たまひとある。夏俗の宜く知る所なれども。婦幼稚童へ疑て奈何
る。故小蜂沢等。信る伎倆。るらんと思ひ。多う。と重て
者。或ハ。或ハ。足る。鎌。て。自。と。伐。れ。と。久。此。風。小。あ
あれ。風。の。裡。小。江。一。ん。形。状。と。描。せ。る。這。咸。僕。杜。撰。な。れ。も。雷。獸。雷
鳥。あ。る。念。之。又。る。と。あ。定。め。が。一。具。眼。多。識。の。鳳。君。子。小。見。ま。え。を
ふ。あ。る。依。例。の。鹿。漏。れ。免。れ。

安登稔戊午初春新鐫

鳥永春水記

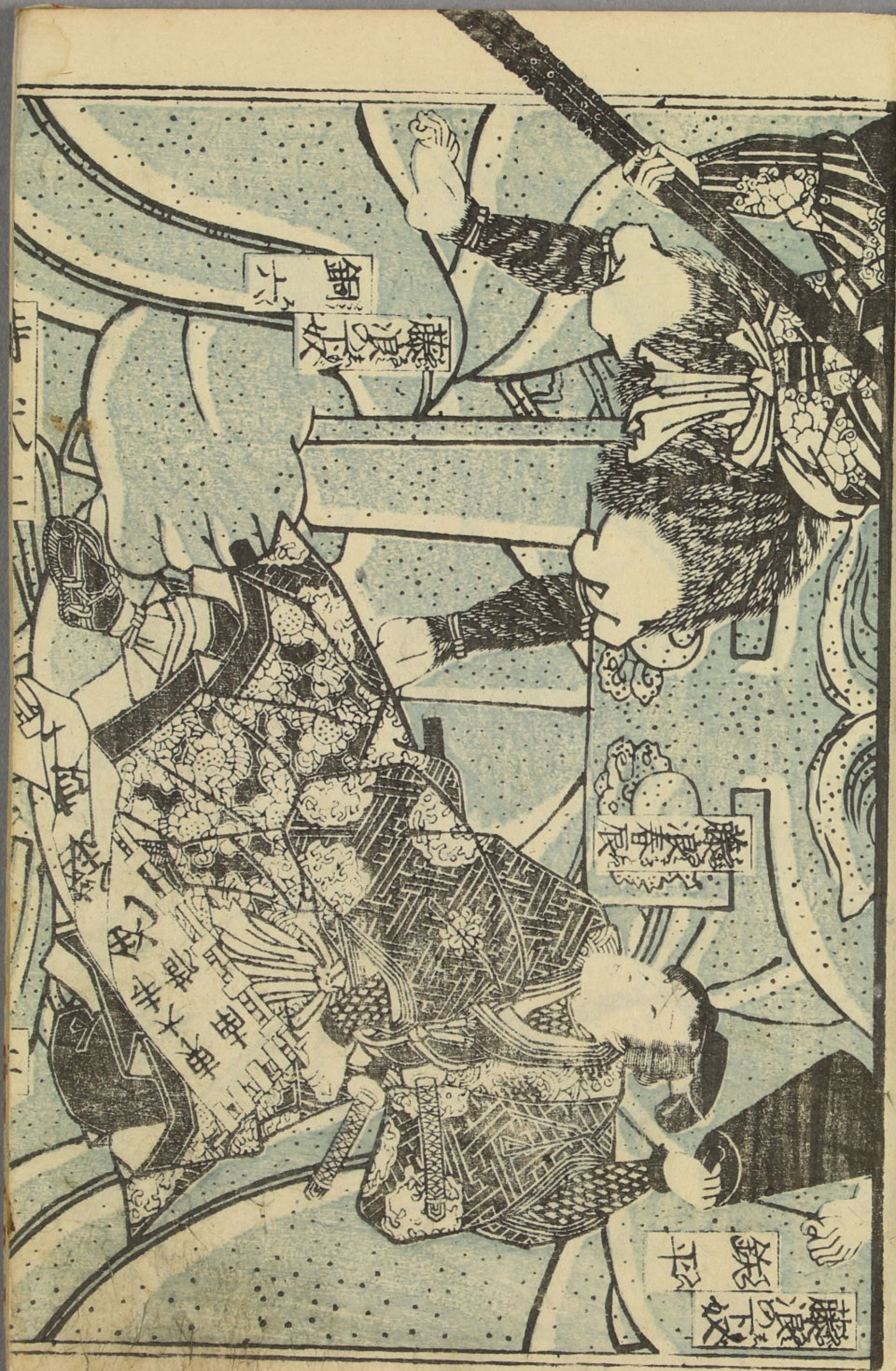
寺 七 十一

正 一 〇



加賀
州合志
十字
羅王の石像

白雲



銅六

藤浪下

藤浪春辰

鉄平

藤浪下

掛大井

